

広報 おおの

平成元年(1989年)

9 月号
No. 528



六呂師高原初秋

創生

アイデア IN 大野

最優秀賞

市街地歴史・文化散策ルートの整備



■ 小池好孝さん(49歳・元町11-13)

亀山周辺・御清水・朝倉氏史跡・七間通り・寺町通りを結ぶ「市街地歴史・文化散策ルート」を整備し、「まちなか観光」を実現します。

具体的には①現存する数少ない武家屋敷としての内山家(城町)を整備して一般公開する②七間通りを、地元商店街が行う商店街近代化事業に合わせて、朝市にふさわしい石畳風の舗装にする③五番・七間通り角の駐車場を公園化し憩いの場をつくる④寺町通りを石畳風の舗装にする⑤七間・寺町通りは、電線や電話線を地下埋設する⑥名水百選「御清水」の近くに茶室を設ける⑦大野高校移転跡地に(1)

市が五月に実施した「ふるさと創生アイデア募集」に、市内外から三百七件の応募がありました。市内各界の代表ら十二人で構成する審査委員会(委員長・宇野治一商工会議所会頭)は、一カ月に渡る審査の結果入賞作六件を決め、八月十二日、山内市長に報告しました。市はこれらのアイデアを基に事業計画を立て、早ければ十二月定例議会に、今年度分の事業費を提案する予定です。入賞したアイデアをご紹介します。

を集めた「虹の美術館」を建設(4)大野高校保管の蘭書の移管を受け、展示する洋学館を復元する、の七件です。

一徳田は主に内山家整備に使い残りの事業は、国の補助を受けるようにします。これらの事業が完成すれば、市街地を歩いて回る観光ルートが実現し、周辺商店街の活性化にも結がると思います。

優秀賞

地下水涵養を目的とした森林公園



■ 野尻伸一さん(42歳・本町4-6)

1 大野の大きな魅力の一つである

豊かな自然と水を永久に残し、

「名水百選」の名に恥じないためにも、地下水保全のあらゆる方策を実施する。

2 河川水・雨水の還元などと

もに地下水涵養を目的とした「森林公園」を造成、「音楽の森」「彫刻の森」「スポーツの森」など、市民憩いの場を増やす。

3 森林公園内の建造物を年に数回、一定期間、県内外の団体に無償貸与する一方、「活動資金援助制度」を設け、市内外の団体

ふるさと

の協賛・支援のもとで自由な活動をしてもらう。

市民と行政の英知を結集して以上の事業を実現すれば、後世に誇れるアメニティ(快適な生活環境)

づくりとなる。

また、全国公募で大野の誇れる施設を活用してもらうことで、地域間交流、伝承文化の継承、イベントの開催や健康づくりに役立つ。

武家屋敷の復元、歴史資料展示館づくり

大久保京子(57歳・泉町5-7)



城町10-7

にある「内山邸」は、明治

初期に建て替えられたものであるといえ、旧大野藩の重臣(家老)内山良休の屋敷であり、当時の武家屋敷の形を残している。また、庭や何棟かの蔵も残されている。これらが人手がないまま荒廃して

いるのは惜しい。

内山邸を郷土の資料館として活用するため、できれば買い取るか、あるいは賃貸借してでも補修・復元して、旧藩政時代の資料などを展示してはどうかと思う。場所的にも旧藩庁跡に接し、百間堀跡、大野城を仰ぎ見ることができ、郷土の名物として効果的だと思う。

大野の過去・現在・未来を展望

アイデア審査委員長 宇野治一(さ)



「自ら考え、自ら行う地域づくり」外なもの、ユニークなものも多数ありましたが、審査委員会としては、行政側だけではできない事業で、なおかつ、実現性の高いアイデアを重視し、最終的に六

というふるさと創生事業の主旨を踏まえ、一カ月間にわたり応募アイデアを吟味してきました。応募アイデア三百七点の中には奇想天

点を運びました。結果的に、大野の城下町としての歴史と文化、恵まれた水環境を保全・継承す

るアイデアと、大野を舞台とした小説の映画化、情報化時代に即した「情報サービスセンター」構想、未来を見据えた「サイエンス館」設立のアイデアを採用しました。これらは、わがふるさと大野の過去・現在・未来の地域展望としてふさわしいものだと思います。私たち委員も、多数のアイデアを通して随分勉強させて

いただき、感謝しています。

佳作

●『幕末早春賦』の映画化

田中真次(39歳・中荒井)



幕末の大野藩を描いた有明夏夫著『幕末早春賦』(文芸春秋版)を原作として映画を制作する。

監督は黒沢明とか和田勉などに、脚本は橋田寿賀子などの有名な人に依頼する。俳優も有名人を当て、ロケもできるだけ大野でし、全国の映画館やテレビで上映されるような作品にする。また、大野市内全世帯に、ビデオテープに複製して配布する。

映画化すれば、NHKや民放でドラマ化されるきっかけともなり得るなど波及効果は大きい。

●ふるさと基金と情報サービスセンターの設置

高井修二郎(55歳・泉町)



ふるさと創生のための一億円を「ふるさと基金」とし、地元

の有志や大野出身者から寄付を募って増額を図る。そして、行政・市民・学識経験者三者で運営委員会を構成、教育・

文化・スポーツ事業を行うほか、大野城を中心とした「ふるさと公園」の整備などを進める。

一方、「情報サービスセンター」を設置して大野の情報をも全国に発信し、基金に賛同する人も募る。基金出資者へは当然、基金活用状況を報告する。センターの実務はボランティアに依頼し、市民や来訪者がいつでも自由に出入りできるオフィスを確保する。運営資金は基金増額分と利息を充てる。

●奥越サイエンス館の設立

中谷敬治(62歳・水落町)



奥越の未来を展望し、子供たちにも大きな夢を与えるような大科学館をつくつ

たらどうだろう。教養あふれる事柄について、誰もが気軽に体験したり体験できる科学館をです。

科学館づくりに当たっては、大野出身で世界的に有名な竹内均先生(現東京大学名誉教授)の絶大な力をお借りすることが成功への道だと思っています。

日本海側には現在、大規模な科学館がありませんから、大野に本格的な施設があれば、自然と科学の調和に貢献できると思います。

高卒就職志望者、依然市外志向

地元企業にとっては危機的な求人難

来春、奥越の高校四校を卒業して就職する生徒を対象に、大野公共職業安定所などが就職についての意識調査をしました。その結果、市外へ出たいという傾向が一層強まっていることが分かりました。一昨年来、大野職安管内の求人倍率が二倍を超える一方で、新卒者の市外流出は、地元企業にとっても市全体としても大きな損失です。調査結果の概要をお伝えします。

●進学51%、就職48%

来春三月の大野高校など奥越四校の卒業予定者は、男子五百三十四人、女子四百五

十七人の合計九百九十一人で、五月一日現在の希望進路は、進学が五百七十七人(五二%)、就職が四百七十三人(四八%)となっています(左上の表参照)。

アンケート調査の対象は、就職希望者のほかに、まだどちらとも決めていない生徒や進学希望だが就職の可能性がある生徒も含めているため、一部の学校では就職希望者と回答者数に差異があります。

●休日・勤務時間重視

まず、「就職先を選ぶのに何に重点をおきますか」との問いに対し、「仕事の内容」と答えた人が最も多く、次いで「労働条件」「会社の将来性」「自分の技術・知識が生かせる」の順となっており、この順位は男

女とも変わりません。

労働条件の中では、①賃金②休日③勤務時間の順ですが、②と③の合計を①と比べると男子は同数、女子では②と③の合計の方が①を上回っています。若い人の余暇時間への関心の高さが伺えます。

●市内での就職は24% 女子は40%が県外へ

「就職希望地はどこですか」との問いには、「大野または勝山市内」と答えた人は百七人で、全体の二四%にすぎません(図1参照)。

昭和五十六年に行った大野市だけの調査では、就職予定者五百六十八人のうち、市内への就職希望者は百八十六人(三三%)でしたので、市外へ流出する傾向は強まっているといえます。

特に女子は、市内に残る人が二二%、県外を希望する人が三八%となっており、四割近くの人が県外へ流出してしまうこととなります。女子の市外流出は、昨今の深刻な嫁不足の大きな原因に

図1. 就職希望地

	大野・勝山市内	市内(県内)	県外
男子	63人(26%)	116人(48%)	62人(26%)
女子	44人(22%)	81人(40%)	78人(38%)
全体	107人(24%)	197人(44%)	140人(32%)

●男子は専門・技術職 女子は事務系を希望

もなっています。

「希望する仕事は何ですか」との問いには、男子の過半数(五五%)が「専門的・技術的な職業」と答えています。これは工業高校の生徒の三分の二が希望しており、大きなウエイトを占めています。次いで「事務的職業」「販売の職業」が、ほぼ同数で並んでいます。女子は「事務的職業」を希望する人が最も多く、全体の四〇%を占めています。次いで「販売の職業」「専門的・技術的職業」「サービスの職業」の順となっています。

市民総ぐるみで雇用開発

商工会議所事務局長・佐々木幸一氏



「深刻な人不足」に加え、来春、就職を予定している高校生も「脱

大野」を強く望んでいる折に、行政・業界・学校・父兄による「大野市雇用対策推進会議」が発足しました。これから大いに雇用確保の道を開いていただけるものと期待しています。

一方、雇用定着の面からは、さらに求人と求職のアンバランス解消が強く求められてくることになると思われます。こうしたことから、私は、地域の各次産業を振興する上で実状をよく知っていたいただき、市民みんなで守り育てていただくという、総ぐるみの連帯感が高まることを念じています。

“三キ”の仕事を嫌う傾向

大高就職指導部長・常盤誠治氏



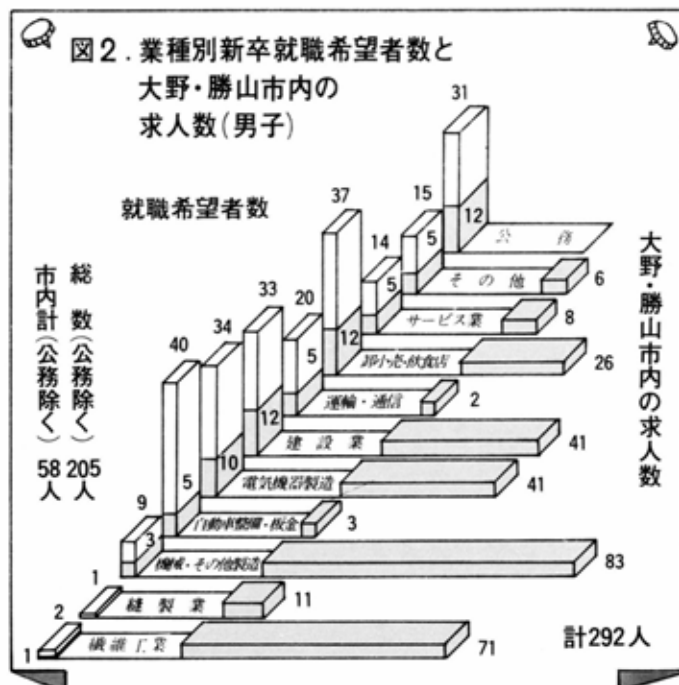
生徒の希望する仕事や業務について、特に普通高校では事務的な職種や第三次産業(商業・サービス業など)への就職希望が強く、汚い・危険・きつい、いわゆる“三キ”の仕事の嫌う傾向が目立ちま



高校生の職場見学会で

●求人倍率は何と7倍
「希望する業種は何ですか」との問いに対しては、男子では①自動車整備・板金業②卸・小売業、飲食店③電気機械器具製造業④建設業⑤公務の順(図2参照)となっています。女子は①サービス業五十五人②卸・小売業、飲食店五十四人③公務二十一人④金融保険業二十人の順です。

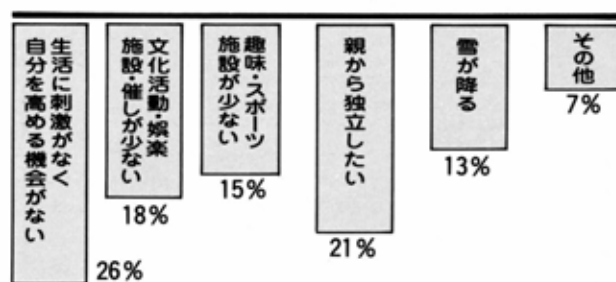
●就職希望者の64%が「奥越に住みたくない」
「奥越地域内でずっと生活したいですか」との問いに、百六十三人(三六%)が「生活したい」と答えましたが、反対に二百九十五人、実に六四%もの生徒が「生活したくない」と答えています。
「生活したい」と答えた人の理由は①生まれ育ったところ



求人数は二百九十二人(七月末現在・職安調べ)で、求人倍率はなんと五倍以上になっています。なかでも機械製造業や繊維工業は極端に希望者が少ないにもかかわらず、求人数は大変多いという皮肉な結果になっています。
女子の地元企業の求人状況は、①縫製業百十一人②繊維工業六十人③電気機械器具製造業三十五人④卸・小売業、飲食店二十六人⑤サービス業二十四人などで、合計は二百八十三人です。地元企業就職希望者は三十人(公務を除く)に過ぎず、まさに新卒者は「金の卵」です。

に愛着がある②自然が豊富③人柄がよく、のんびりしている④親の希望⑤友人が多い、などです。
一方「生活したくない」と答えた人の理由は、図3のとおりです。「生活に刺激がなく、文化・スポーツ活動などの施設や機会が少ない」ことを挙げているのが五九%にも達しています。こうした点からも、若者は、文化水準の高い都市生活を望んでいることが分かります。次いで多い理由は、若者特有の「親からの独立」、さらに、これは自然条件でどうしようもないことですが、「雪が降る」ことが挙げられています。

図3. 奥越で生活したくない理由



す。今回、高卒就職希望者の意識調査をまとめてみて、課題の困難さを強く感じています。しかし、何としても克服しなければと思っています。一朝一夕では解決できませんが、企業・学校・行政が、それぞれの立場で努力を重ねていくしかないと思います。ただ、そのスピードを速める必要があります。



大野丸 沈没に危機感
大野勝安 指導員・広瀬敏一
新規高卒者の地元就職促進は、職業安定所としても大きな課題です。

こうした傾向が職業意識の甘さと結びついているのかどうかは分かりませんが、あの子が行くから私も行くというような風潮もあり、職業に対する自分なりの理念や自己分析が十分でない気がします。今年、就職希望者の方が、ある意味では優位な立場に立っており、誇りを持って就職活動の関門を通り抜けてほしいと思います。

蕨生小校舎・体育館を改築

総工費4億3百万円で来春3月完成

市内に唯一残っていた木造老朽校、蕨生小学校の校舎と体育館の移転・改築が、いよいよ今月から始まります。移転する場所は現在の学校から北西へ約八百メートル離れた所

（「位置図」参照）です。新しい学校の敷地は約一万三千七百平方メートル（二・三七畝）で、今の敷地の二・三倍の広さです。同校の現在の校舎・体育館は昭和二十六年と三十一年に建て

られたもので、老朽化が著しいことや、山際にあるため敷地の拡張が難しいことから、今回の移転・改築となりました。校舎・体育館建設の総工費は四億二三百

校舎は現在の2倍の広さ

新校舎は鉄筋コンクリート造り二階建てで、延べ面積は約二千平方メートル。現在の校舎の約二倍の広さです。

一階には、低学年用の普通教室二部屋をはじめ、多目的ホール（ランチルーム兼用）、図書室、放送室、保健室などが設けられます。また、玄関を入った所には、二階まで吹き抜けとなったホールも設けられ、ちょっとした催しなどに

利用できます。二階には、中・高学年用の教室四部屋のほか、音楽室や理科室、図工室、家庭室が設けられます。

体育館はバレーなら2面

体育館は鉄筋コンクリート造り平屋建て延べ八百四十平方メートルで、バレーやバドミントンのコートなら二面取れます。現在の体育館は約二百七十平方メートルで、地域の社会体育活動にはほとんど利用でき

下庄小体育館も改築12月末 旧体育館の2倍の広さに

下庄小学校体育館の改築工事が進められています。現在はくい打ちなどの基礎工事がほぼ終了し、柱やはりなどの鉄筋工事が進められています。

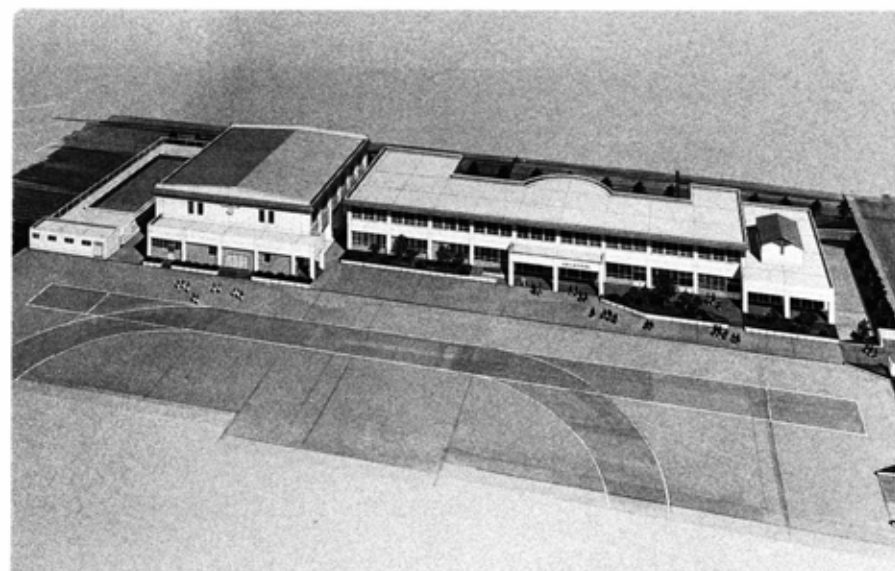
新しい体育館は鉄筋コンクリート造り平屋建てで、延べ千四百平方メートルの広さ。バレーやバスケットのコートなら二面、バドミントンなら六面がとれます。

今度の改築に伴い取り壊された旧体育館は、広さが六百七十平方メートルで、バレーやバスケットコートが一面しか取れませんでした。このため、多様化する体育実技学習

が条件が整うことになりました。今後は鉄筋老朽校を改修

今回の蕨生小学校改築で、市内小・中学校の改築はすべて終了します。今後、市では傷みが目立つ鉄筋校舎・体育館の改修に重点を移します。今年度は有終西小学校のトイレと照明、陽明中学校の普通教室棟外壁と暖房設備を大改修しました。来年度以降も計画的に改修する方針です。

改築の総工費は二億二千六百万円余りで、今年十二月末には完成する予定です。



青い目が見た ON O

大野の人々が親切で
優しいのは、多分
この土地柄のせいです。

前福井県英語指導助手(大野工業高校在籍)

ロバート・ニューエンスワUNDERさん

一九八三年に妻と私が日本に来た時、大野を訪れたことがあります。

大野に来て、旅館を見つけるのにとっても苦労しました。何軒もの旅館に電話をし、やっと空いている部屋が見つかりました。「どこにあるのですか」と尋ねたら、旅館の人は住所を教えてくれた上で、「もし途中で道に迷ったら、Oビルはどこかと聞いてください。私の旅館はその隣です」と言いました。結局、私たちは道に迷い、何人かの人に目標のビルを尋ねました。その人たちも「知りません」と言いましたが、一人のおばあちゃんに私の妻が、「Oビルはどこです かあ」と尋ねたところ、彼女は「ああ、そおか、Oビルやの。分かった。ついて来て」と言って、私たちを案内してくれました。その時は、四年後に私たちが大野で暮らすことになるとは、全く予想もしませんでした。

私は、その土地柄が、そこに住む人々を育くむと思います。大野市は

とても美しい山々に囲まれて広がり、穏やかな川が流れています。毎日、トンビや水鳥を見ることが出来ます。夜にはカエルの鳴き声を聴きながら満天の星空を楽しむことができます。これこそ、本当の田舎の暮らしです。

大野の人々が親切で優しいのは、多分、この土地柄のせいです。

一九八七年八月、妻と私が大野で暮らすようになった最初の日、私たちは梅酒でお祝いをすることにしました。日本の梅酒は、アメリカでも知られています。そこで、私たちは梅酒を買いおと酒屋へ行きました。けれど、残念なことに、その店には一本も在庫がありませんでした。ところが、その店の奥さんが店の奥に消えたかと思うと、突然、自家製の梅酒のビンを抱えて戻って来ました。私たちはお金を払おうとしたが断られ、「それはプレゼントです」と彼女は言いました。大野で二年間を暮らすうちに、私たちは何度もこれとよく似たことを経験しました。

季節は早く過ぎていきました。冬には山へスキーをしに、春には自転車で行き、夏には川で泳ぎ、秋には紅葉している森の中を歩きました。私はこれまでに多くの国々を旅行し、そこに住んだり働いたりしてきましたが、大野ほど美しいところに住んだことはありませんでした。

時々、生徒たちが、「大野を離れて大阪や東京のような大きなまちに住みたい」と言うのを聞くと、私は驚き、そして悲しくなります。しかし、彼らが「大野を離れ、大野に残してきただけの本当のありがたさが分かるためには、一度は違う場所に行ってみる必要があるのかも知れません。同じように、私が日本人の友達に大野を離れると言うと、彼らはしばしば当惑します。そして、「あなたがそんなに大野を好きなのなら、どうして大野を出たいのですか」と尋ねます。

私はその問いに、こう答えます。「なぜなら、大野のまちは私に、私を育んだ文化を見直し、そしてそれに感謝するという新たな思いを芽吹かせてくれたからです。中国のことわ

ざにもあるように、すべての川はその源流を持ち、すべての木はそれ自身の根を持っているのですから」と。

▼向かって右がロバートさん。隣は奥さんのカレンさん



Mr. ROBERT NEUENSCHWANDER

1956年2月生まれ(33歳)、アメリカ合衆国ミシガン州ミルウォーキー出身。文部省招致外国語(英語)指導助手として、妻カレンさん(31歳)とともに昭和62年8月に大野市へ赴任。以来、今年7月まで大野工業高校のほか上庄中学校などで教鞭をとる。カレンさんはスウェーデン人で、中国旅行中に会ったのが縁で結婚。世界各地を旅行して自国文化を問い直すのを信条とし、将来は作家になるのが夢とのこと。

(翻訳)大野市中野・滝波奎子さん

ぐるーぷ登場

にいばり
大野新壘俳句会

大野産の菊花石に「夏菊に
馴染初たる大野哉 おにつら」
とくつきり刻まれた句碑が、
寺町通り・善導寺隣の錦公園
に完成しました。

この句碑は、大野新壘俳句
会（山形甚吉会長）が中心に
なって建立したものです。「新
壘」は、大野の俳句界では草
分け的な存在で、昭和三十八
年八月に故宮沢岩雄さん（泉
町）の呼びかけで誕生しまし
た。それ以来ずっと続いてお
り、例会は毎月第二日曜日の
午後一時三十分から四時まで
大野公民館で開いています。
会員は男女とも年配の人が多
く、十九人です。

句碑を建てるきっかけは、
事務局長を務める高瀬定さん
（57歳・錦町）が高校時代の恩
師で昨年まで伊丹市の教育長
者で、俳句愛好者だけでなく、



会では、俳句愛
好者だけでなく、



僕は名古屋の専門
学校を出て、一度は
そこで就職したが、

上島鬼貫の句碑を建立

をされていた佐坂茂男さんか
ら上島鬼貫（江戸中期の俳人
で現伊丹市の出身）が、大野
で俳句を詠んでいると聞かき
れたことです。鬼貫の自叙伝
には、日記風に、

より多くの市民に理解しても
らおうと、会員を通じて建設
費の募金呼びかけました。
その結果、百四十人余りの市
民が協力し、大野市や伊丹市
からも助成されました。七月
には伊丹市の佐坂さんからも出
席して除幕式が行われました。

市民の ページ

■この「ページ」では
市民の皆さんの活動ぶ
りやご意見などを紹介
します。あなたもペー
ジに参加しませんか。
連絡先 市役所総務課
広報広聴係（天神町一
一 66・1111）



若い力で大野に未来を

北川和文さん（26才五楽方）



八月十
三日から
十五日ま
で、有終
会館を主

やはり大野がよくて帰って来
た。それで何かやりたかった。
友達誘いでフェスティバル
の実行委員に加わり、いろん
な苦労もしたけれど、いろん
な人たちとも知り合いになれ
た。来年は、もう一つ輪を広
げて盛大にしたい。もう一ク
ラスだけ上へ飛び出したいと
思う。

大野の人は消極的過ぎると
思う。だけど、いざ自分た
ちで大野を背負って立たなけ
ればならない時が来るのだか
ら、みんな、いっしょに力を
合わせて、自分たちの手で大
野をよいまちにしよう。自分
たちの町なのだから。

最後にひとこと、市民の皆
さまで。若者の活力ある行動
にはぜひ、ご理解とご支援を
お願いします。

Q

有終会館が立派
になって結構なこ
とと言うべきでし
ょうが、私としては何の喜び
も感じません。以前は開基の
会でも無料でしたが、今度は
高い使用料が必要です。だか
ら、いつも使うことは不可
能になりました。これは時代に
逆行ではないでしょうか。前
の古い有終会館の方がどれ
ほどよいか分かりません。

それから、あの入口のゲ
ート、個人的な主観ですが、奇
異をてらい過ぎて好感が持て

私もひとこく

有料化で有終会館は飾り物に

ません。むしろアーチなどの
方が穏やかに感じますが。
立派な有終会館は、横目で
眺めて通るだけの代物になり
ました。

(春日一・匿名希望・77歳)

従来、市の各種
施設の使用料は、
その施設ごとに決
めてありました。その結果、
施設間でのばらつきや不統一
が見られましたので、今回の

多田記念大野有終会館の完成
を機に、全施設の料金を見直
し統一性を持たせるとともに、
使用料条例を一本化しました。
使用料は、電気料をはじめ
施設を維持管理するために必
要な経費の一部を、その利用
者にご負担願うものです。公
共施設であっても、その維持
管理費をすべて税金で賄うの
ではなく、直接利益を受ける
利用者にも、一部負担しても

風にちほ

風船が縁で長野県の小学校訪問

小森健伍・姫代さん夫妻(大和町)

小森健伍さん(72歳)・姫
代さん(78歳)夫婦は七月十



八日、長野県上伊那郡箕輪
町の箕輪中部小学校を訪ね
五月から文通を続けていた
子供たちと交歓しました。

今年五月、市老人福祉セ
ンター創立十周年記念行事
で姫代さんが飛ばした風船
が縁で、小森さん夫婦と同
小三年四組の矢沢久美さん
たち三十八人との間で、文
通が続いていました。

健伍さんは二科会の会員
で、二科展に二年連続入選
したところある画家。文通
でも二人の似顔絵を送った

りしましたが、今度はお土
産にと「舟曳き」と題する百
号の油絵を自家用車の屋根
に積んで出かけました。

学校では全校児童千人余
りが待つ体育館へ案内され、
健伍さんの絵が飾られたス
テージであいさつすることに
なりました。二人ともあま
りの歓迎ぶりにびっくり。

あいさつの後は、三年四組
の教室で、子供たちが歌と
踊りで大歓迎。お二人は「こ
の楽しかった思い出は一生
忘れないでしょう」と感激
しておられました。

健伍さんの絵は、市老人
福祉センターや大野有終会
館へも寄贈されています。

らう方が、市民全体から見れ
ば公平になるという考えです。
料金は平日・休日の別、午

前・午後・夜間の別、さらに
は冷暖房の使用時期などに分
けて決めてありますが、使用
目的によっては免除または減
額される場合もあります。減
免措置については、各施設の
管理者にお尋ねください。

入口のゲートは、たくさん
の人々が集い、ふれあいの場
になることを願って、「人」を
表現したものです。会館の表
と裏に合計五基あります。当
市としては初めての試みです
が、類似のものは全国にあり
特に奇をてらったものではあ
りません。ご了承ください。
(総務課長・中兼惣右エ門)

私もひとこく

投稿のお願い

市政についての質問や
意見など、日ごろ皆さん
が考えていることを八方
キでお寄せください。紙
上匿名は自由ですが、必
ず住所・氏名・年齢・電
話番号をお書きください。
原文を一部要約すること
もあります。

あて先 市役所総務課広
報広報係(〒912 大野市
天神町一―一)

お知らせ

●ミスおおの

シンデレラコンテスト

主催 大野市観光協会

応募資格 高校生を除く18歳
以上の未婚女性

応募方法 便せんなどに住所・
氏名・生年月日・職業・趣
味・特技・電話番号を明記
の上、名刺版(65ミ×90ミ)
の上半身写真を添え、〒912
天神町2―4 市観光協会
(☎65・5521)へ。

応募締切 9月20日(木)

審査 10月1日(日)午後1時か
ら市内会場(未定)で。応募
者は洋装とし、3人を「ミ
ス」に決定します。

表彰 10月8日(日)表彰式。ミ
スには賞金10万円とグラム
島旅行などをプレゼント

●大野柔道スポーツ
少年団、団員を募集
対象 小学1年生以上中学3
年生までの男女
申込先 大野市B & G海洋セ
ンター(☎64・1311)へ
同スポーツ少年団は、毎週
水・土曜日の午後7時から8
時まで、大野有終会館1階の
106号室で練習しています。
ぜひ、見学にお越しください。

年齢・体力に合った運動を

一日のうちで汗をかくことのない人は、まず運動不足と
思っているかもしれません。運動不足が原因で、肥満から成
人病への道を歩むことになるばかりか、体力や身体機能の
低下で老化を早めることにもなります。年をとればとるほ
ど、体力に個人差が目立ってきます。どの年代に、どんな
運動をするのがよいか、年代の体力の特徴と、運動する上
での注意点についてご紹介します。

I 20歳～30歳代

二十歳代は体力のある時期
です。体全体をフルに動かす
スポーツ、例えばテニスやラ
ンニング、エアロビクスなど
で積極的に汗を流しましょう。
若さでいろんなスポーツに挑

戦して、一生続けられそう
なものを選び、身につけてお
くことが大切です。

三十歳代は、体力や運動能
力が低下し始める時期です。
体力の現状維持とストレス解
消の二点に重点をおいて、サ
イクリングや水泳、バレエボ
ールなどを生活にとり入れま
しょう。

II 40歳代は曲り角

四十歳代は、筋力や持久力
など体力を形成する要素が衰
えてくる時期です。他人と競
うスポーツは避け、運動不足
を解消し、自分のペースで
できるスポーツを実践しまし
ょう。具体例として、毎朝のラ
ジオ体操やジョギングなどが
最適でしょう。

III 50歳代以上

五十歳代以上の人は、体に
極端な負担がかからない運動
を時間をかけてすることが大
切です。そして、何より末長
く続けることです。この意味
で、歩くことは最も適した運
動といえます。

歩き方の一例として、一分
間に約百回の歩数を毎日二十
分から三十分程度することが
望ましいとされています。

歩くコツは①ひざを伸ばし
歩幅を広くとる②背筋を伸ば
す③少し速めでリズムカルに
④後ろ足で地面をしっかりとけ
る⑤体の上下・左右の揺れを
少なくする、などです。

はじめから無理をする必要
はありません。軽く汗をかく
くらいの速さと距離で始め、
生活の一部にしてください。



●健康ウォーク

参加者を募集中

期日 10月10日(土)体育の日

※雨天実施

コース・日程 片道約4km
程度のコース(未定)。

詳しくは、保健センター

☎65・7333へお尋ね

ください。

対象 子供からお年寄りま

でどなたでも。ただし、

小学4年生以下は必ず保

護者同伴で。

定員 180人

参加費 500円(保険料

含む)

持参品 弁当・水筒・雨具

など。

申込方法 9月30日(土)まで

に保健センターへ。

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター(☎65-7333)

■あなたの身近に話題がありましたら市役所総務課広報広聴係（☎66-1111）へご連絡ください。

城まつりおどりコンクール 市長賞には福銀チームが

第22回おおの城まつりの開幕を飾る「オープニングおどりコンクール」が8月8日、JR越前大野駅前広場で行われ、8団体250人が浴衣・法被姿で踊りを披露しました。審査結果は次のとおり。▶市長賞…福井銀行▶議長賞…越前信金▶商工会議所会頭賞…北陸銀行



市産業文化展示館で 岡島美術記念館蔵品展

市産業文化展示館で岡島美術記念館蔵品展が開かれています。展示されているのは、刀剣・刀剣付属品・金銅仏・たばこ用具・漆器など約230点で、いずれも美術工芸品として一級の品です。同展は11月5日まで開かれ、入館料は大人100円、小・中学生50円です。毎週月曜と祝日の翌日は休館日です。



話題の ひろば



**健康で明るいまちを願う
健康づくり市民のつどい**
八月二十日、有終会館で第九回「健康づくり市民のつどい」が開かれました。県の「健康お嬢さん」に選ばれた松田美智子さんら六人が、日ごろの健康の秘けつなどを発表。したほか、手軽にできる健康おやつ、の試食やエアロビクス教室など大勢の市民でにぎわいました。



**仮装や山車でフィーバー
おもいっきりカーニバル**
市制三十五周年記念「おもいっきりカーニバル」が8月15日、有終会館～JR大野駅～六間通りをコースに開かれ、十六チーム約三百人が工夫を凝らした仮装や神輿、山車で練り歩きました。山内市長らが扮する土井利忠公の行列も目見え、盛んな拍手を浴びました。



読みどく

●大野出身の洋画家 松原祐一さんの個展

とき 9月10日⑧・11日⑨午前

9時～午後4時

ところ 有終会館本館一階

内容 大野市日吉町出身の松原祐一（55歳・パブリックアート美術協会員）の「人間画」70点を展示。

松原さんの略歴 昭和9年8月6

日、日吉町・円徳寺住職の長男として生まれる。有終中、

大野高校を経て金沢美術工芸大学油画科卒。「8月6日」に

「たわひ」人間を描き続ける。

●こども劇場

主催 市教委・同劇場実行委

とき 9月17日⑧午前10時開演

ところ 市民会館大ホール

内容 地元劇団「たんぽぽ」による童話劇 ▼一部…「七ひきのこやぎ」 ▼二部…「おどりのステージ」 ▼三部…「おおの花さかじいさん」

対象 4歳以上小学校低学年。

親子同伴で。

入場券 1枚200円で、9月

7日から各公民館・児童館（センター）・図書館・市民会館・市教委社会教育課で発売

お知らせ

9月



● 市民大学講座・国際 教養コース受講生募集

期間・日程 10月から11月までの毎週1回、午後7時から8時30分まで

会場 大野地域職業訓練センター（大野市農協会館前）

内容 文部省派遣の外国人英語指導助手の方が講師となつて日常会話を手ほどきするほか、交歓会などを開きます。

対象 学生以外の市民。定員30人

受講料 10000円

申込方法 市教育委員会社会教育課へ電話(66・1111・内線542)で。定員に達し次第、締め切ります。

● エアロビクス講座

日時 9月17日から11月20日までの毎週火曜日、午後7時30分から9時まで

会場 市勤労青少年ホーム(中野町3-1-16)

対象 30歳までの勤労青少年。

定員30人

受講料 30000円

申込方法 勤労青少年ホームへ電話(65・7221)で。定員に達し次第、締め切ります。

● 大野職訓センターで 初心者対象実用講座

大野地域職業訓練センター(大野市農協会館前)では、10月開講の初心者対象実用講座の受講生を募集します。申し込みは同センターへ電話(65・6840)で。定員に達し次第、締め切ります。

■ 手編み講座

日時 10月7日から12月23日までの毎月第1・2・4土曜日、午前9時30分から11時30分まで

定員 20人

受講料 12000円(教材費別)

■ 和裁講座

日時 10月6日から来年3月23日までの毎週金曜日、午後1時から4時まで

定員 15人
受講料 30000円(教材費別)

● 市福祉事務所で 定例補聴器無料相談

とき 毎月第4月曜日、午前10時~正午

ところ 市福祉事務所相談室(市役所内1階)

対象 現在補聴器を使用している人または聴力に障害がある人

内容 補聴器の修理・点検・聴力測定など

費用 無料。ただし、補聴器の修理が必要な場合は実費

問合先 市福祉事務所福祉係(☎66・1111内線473)

● 障害者に働く場を 9月は雇用促進月間

今月は「障害者雇用促進月間」。1人でも多くの障害者が職場を得て社会活動の一翼を担い、働く喜びと生きがいを感じる事ができるよう、事業主の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

求人・求職は、大野公共職業安定所(☎66・2408)へ。

● 里親を求めています

「里親制度」をご存じですか。この制度は、家庭的に恵まれない子供を有志の方(里親)に

預っていただき、温かい家庭の中で育ててもらおうというものです。

県では今、この制度の基盤となる里親を広く県民の皆さんから募集しています。不遇な子供たちに愛の手を差し伸べていただけませんか。

手続きなど詳しくは、県中央児童相談所(☎0776・24・5138)または市福祉事務所家庭児童相談員(☎66・1111内線474)へお尋ねください。

● 登記・法律無料相談

主催 県司法書士会・土地家屋調査士会

とき 10月1日(日)午前10時~午後4時

ところ 有終会館

相談内容 ①不動産の表示・権利に関する登記②訴状など裁判所へ提出する書類の手続き方法③法人の設立・変更の登記④地代・家賃の供託、その他関連事項

● 県政バス日曜日号

とき 9月24日(日)午前8時50分~JR越前大野駅前出発

コース 大野駅前~鯖江・漆器会館~武生・越前の里郷土資料館(昼食)~鯖江・めがね会館~福井・県立博物館~大野駅前(午後4時50分)

市内の交通事故状況

件数	内容	平成元年 7月末	63年 7月末	増減
総件数		204	214	-10
人身事故	件数	100	96	+4
	死者	1	6	-5
物損事故	傷者	138	116	+22
	物損	104	118	-14

(分着予定)

対象 一般(小学生以上の子供の同伴可)、定員54人

費用 無料

持ち物 昼食・筆記用具など

申込方法 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・出発日・出発地を書いて、〒910 福井市大手3-17-1 県庁広報課県民相談室へ

あなたの1日の動き 「交通実態調査」実施

大野市では、建設省、県と共同で、10月~11月に「交通実態調査」を行います。

この調査は、一日の人の動き(いつ、どこから、どこへ、何を利用して、何のために)をつかみ、将来の交通量を予測します。調査結果は道路・駐車場の整備やバス・電車などの

市職員の採用試験

平成2年4月採用予定の大野市職員の採用試験を次のとおり行います。

採用予定人数 ▶事務職…7人

▶技術職(土木)…3人

受験資格 事務職、技術職ともに昭和41年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた人

試験日程 ▶第1次試験(一般教養筆記試験)…11月5日(日)午前9時30分から大野高校で
▶第2次試験(作文試験と面接による人物考査)…第1次試験合格者を対象に11月下旬

に実施

受験申込期間 9月11日(月)～22日(金)

申込方法 大野市役所総務課人事係(☎66・1111内線223)にある申込書に必要事項を記入し、顔写真を張って同係へ

郵便による申込書請求 申込書を郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先を明記して62円切手を貼った返信用封筒を同封の上、〒912大野市天神町1-1 大野市役所総務課人事係へ

交通システム改善に役立てるなど、将来のまちづくりのための貴重な資料となります。調査に当たっては、全世帯の中から無作為に対象を選ばせていただきます。対象世帯には事前に調査をお願いするはがきを送らせていただいた後、調査員(身分証明書携帯)が直接、各家庭を訪問することになっています。その節はご協力をお願いします。なお、調査内容は厳重に管理されますので、他の目的に

使用されたり、外部に漏れることはありません。

問合先 福井都市圏調査実施本部(☎0776・25・1420)

●朗読ボランティア養成講座受講者募集

市内の目の不自由な人に、録音テープを通じて市内の情報や本を朗読・録音して届ける朗読ボランティアの養成講座が開かれます。

とき 9月11日～12月4日、

市民のうごき

(前月比)

世帯数11,288世帯(ー6)
人口 42,447人(ー2)
男 20,371人(+4)
女 22,076人(ー6)

転入 42人 出生 42人
転出 51人 死亡 35人

平成元年8月1日現在

申込先 市観光協会(産業文化展示館内 ☎65・5521)

加入資格 市内在住または市内勤務の人で、18歳から45歳までの男女

年会費 2000円(協会費を含む)

大野の将来を皆で考え、行動する青年部を目指します。既に観光協会に加入している人はもちろん、未加入の人も大歓迎です。

市観光協会では、若者のアイデアと活力を会の活動に反映させるべく、青年部を結成することになりました。未開発の観光資源が豊富だといわれている大野の歴史を知り、大野の将来を皆で考え、行動する青年部を目指します。既に観光協会に加入している人はもちろん、未加入の人も大歓迎です。

●観光協会青年部募集

申込先 市社会福祉協議会(有終会館内 ☎65・8773)

受講料 5000円(本代)

協ボランティア室

ところ 有終会館1階・市社

毎月第2・4月曜日、午後1時30分～3時30分

暮らしのヒント

最近の洗剤には、汚れを分解する酵素を配合したものがたくさん出回っています。この酵素には、タンパク質を分解するアルカラゼや繊維素を分解するセルラーゼなどがありますが、バイオテクノロジー(生物工学)の技術を駆使して生産していることから、酵素洗剤をバイオ洗剤と呼んでいるメーカーもあります。

バイオ洗剤と小型洗剤の見掛けの便利さを考える

す。容器が小さくてかさばらないこともあり、人気を集めよく売れているようです。なぜ「スプーン一杯」になったかというと、これまで商品が大きく見せるため増量剤として配合していたボウ硝(硫酸ナトリウム)を減らしたことなどによりです。

洗剤の量が減ると排水による河川などの水への影響も少なくなるとは思いますが、実際は、汚れ落としの主成分である界面活性剤(リン脂質)は逆に増えているのです。リン分は手荒れや水質汚染など、洗剤の質として一番問題になっているものなのです。

また、「スプーン一杯で汚れが落ちる」という小型洗剤も店頭をにぎわしています。現代の生活。けれど、目先の便利さは、必ずしも生活全体を向上させるものではありません。洗剤の能力は飛躍的に高くなりましたが、反面、水質汚濁の主原因は家庭からの排水であるというのを再認識し、洗剤の使用量を協力減らす工夫をしたいものです。

ふらふらと散歩

レストラン・喫茶店など幅広く、在庫はゼロで生産が追いつかないそうです。今後、リゾート計画や外食産業の伸びによって、さらに需要が伸びることが見込まれています。

製造している機種は、シンク（流し）・調理台・ガステーブル・自動フライヤー・冷凍冷蔵庫など実に多種にわたっています。最近では日本人の平均身長が

133 厨房機器メーカー タニコotteック

清滝にあるタニコotteックは、業務用総合厨房機器のメーカーです。昨年は丸岡に西日本流通センターと九州工場（福岡県）をつくり、今年一月には丸岡工場が完成しました。

伸び、シンクの高さが80センチからアメリカ並みの85センチの製品に移行されつつあるそうです。

製品はすべてコンピューターによって制御され、工場内の機械は全部最新式だそうです。一人前の技術者になるためには十年かかるので、入社してから徹底した研修を行っています。

従業員は大野と丸岡合わせて百三十



五名ですが、青年が多いので、ソフトボール・バレーボール・スキーなどのクラブがあり、健康・体力づくりに力を入れています。つなひきクラブ「よいしよ隊」は市民大会や岐阜県大会にも出場し、好成績をあげています。（T）

お知らせ

●市総合文化祭 出演者と作品募集

第23回市総合文化祭が11月3日から5日まで、市民会館と有終会館を会場に開かれますが、これに先立ち芸能部門出演者と展示部門出展作品を募集しています。

奮ってご応募ください。
芸能部門 ▼内容：個人または団体での演奏・民謡・踊りなど ▼応募締切：9月18日
展示部門 ▼内容：絵画・書道・工芸・写真・余技作品など ▼応募締切：10月31日
申込・問合せ 市教育委員会 社会文化教育係 ☎66・1111 内線542



編集後記

●「朝顔に釣瓶とられてもらひ水」ご存知、加賀の千代女の代表作。「行水の捨てどころなし虫の声」。これは八面「くる」ぶ登場」に紹介の上島鬼貫の名句です。ともに生あるものへの作者の心情が生きて写しです。それに引き換え、幼女誘拐殺

人事件の残虐さ。機械とにらめつこの現代病か。（平）
 ●「広報おおの」の原稿締め切りは毎月十三日前後。九月号の編集はお盆前に大部分を終えたわけですが、何やら頭の中のカレンダールが「台風」で乱れっぱなし。時差ぼけならぬ「季節ぼけ」も重なって、ちよっとバテました。季節の変わり目、健康に注意しましょう。（清）



「いやあ！大きな勘違いをしておりますましたわい。今日は式典に参加させてもらって認識を新たにしましたよ」。去る七月

二十三日（日）、多田記念大野有終会館で開催された大野市高齢者人材活用登録者による十周年記念式典後、有識者の方々が口々に、まるで獲物でも得た猟師のよう真剣な表情で語られた会話の一端である▼大きな勘違いとは、社団法人大野市シルバー人材センターの会員と、今回の十周年記念事業を開催した大野市高齢者人材活用派遣事業登録者の会員とが全く同じ会員であり、同じ仕事をしていると思っていたというのである▼大野市における高齢者人材活用派遣事業は、高齢化社会に対処して、高齢者の皆さんが八十年もの長い人生を張り合いのある楽しい人生、生きる値うちのある有意義な人生を送られるようにと、高齢者の方々の願望を満たす対策として開設されたものである▼現在、会員は四十名に達し、多士済々の布陣である。派遣要請は、各地域の老人・婦人団体・保育園・幼・小・中・高PTA、各公民館など。最近では美山町や和泉村までも出かけての活動ぶりである。企業からの要請も目立っている▼人材活用派遣事業を開設している市町村はかなりの多い。しかし、大野市のように市民の中から人材を発掘し、研修会をもちながら指導者として登録し、活発に派遣活動をしている市町村は全国では珍しい。太く根強く育てたいものである。（K）